

清流 復活へ 大和川の挑戦

「日本一汚い川」からの脱却

9月10日は「下水道の日」。県の四つの浄化センターはこの日に合わせ、催され、普段目にしない下水道の大切さを体験できる貴重な機会となりそ

催し(すべて無料)があり、「遊んで学べる」と家族連れに人気だ。一昨年は、延べ来場者が436人だったのが、昨年は904人と2倍以上に増えた。

今年は、十津川温泉足湯コーナー(6日・浄化センター)、パネルシアター(同)、ミニ列車乗

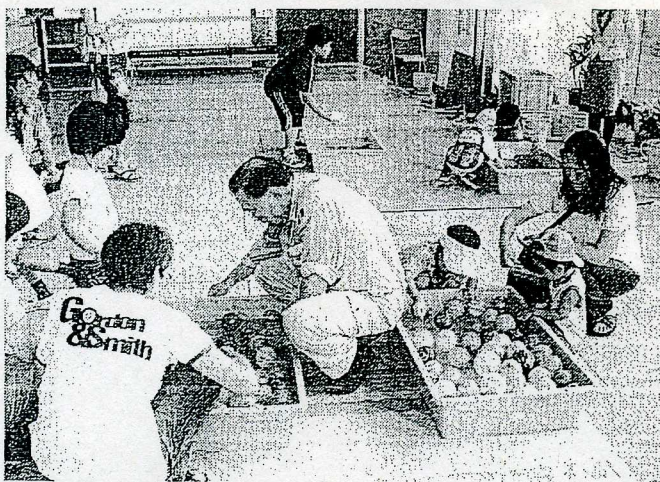
施設見学や催し多彩

て9月5日から10日まで、センターの施設見学会などを行う。特に週末の5、6日の土曜、日曜には家族連れで楽しく過ごせるイベントが数多く

例年、4施設で期間中は施設見学会や下水道啓発ビデオの上映、啓発物品の配布が行われるほか、週末には金魚すくいイベントも増え、昨年以上のにぎわいとなりそう

車(5、6日・第2浄化センター)、雨天特別内容、アクリルタワシ製作実演(同)など新しいイベントも増え、昨年以上のにぎわいとなりそう

「下水道の日」の取り組み



「下水道の日」に合わせて楽しいイベントが数多く開かれる(昨年のイベントから)

だ。国土交通省がまとめた平成20年の一級河川水質調査によると、大和川は最下位を脱出してワースト2位になったが、まだまだきれいな川にはほど遠い。今後の水質改善に果たす下水道の役割は大きい。

県下水道課、県流域下水道センターは「下水道の日」を通じて、下水道の普及、促進の意義を多くの人に伝えたい。特に次の世代を担う子どもたちが、下水道に興味を持ってくれる場になってほしい」と話している。

イベントについての問い合わせは、各浄化センターへ。浄化センター、電0743(56)2830。第2浄化センター、電0745(56)3400。宇陀川浄化センター、電0745(82)5725。吉野川浄化センター、電0747(2)8631。

●毎月1回、下旬に掲載

21年8月28日(金)

奈良新聞

朝・夕